



週報

Weekly Report

RI テーマ
奉仕を通じて平和を

2012-2013 年度
国際ロータリー会長 田中作次

国際ロータリー第 2720 地区 **熊本南ロータリークラブ**
Rotary International District 2720 Kumamoto South Rotary Club

例会日 / 毎週月曜日 12:30 ~ 13:30
例会場 / 〒860-8536 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内
創立日 / 昭和 33 年 9 月 1 日 (承認 昭和 33 年 11 月 24 日)
会長 / 浅山弘康 幹事 / 漆島典和 クラブ広報委員長 / 吉原コウイチ
www.smate.jp/k-minamirc

第6回例会記録(通算第 2534 回)

平成 24(2012)年8月20日

斉唱 国歌 君が代

ロータリーソング「手に手つないで」



姉妹クラブ 台北大同扶輪社 洪榮添会長と親善のパナー交換

今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 外部卓話 児玉公道様
(九州中央リハビリテーション学院長)

今月・来月の行事

- 8/27 親睦活動委員会 IM@ひろのすけ
- 9/14 ゴルフコンペ@あつまるレーク CC

会長報告(浅山弘康君)

8月20日 本年度6回目、通算2,534回目の例会です。本日の来訪者はいらっしゃいません。卓話は濱田会員です。よろしくお願ひいたします。それでは会長報告を申し上げます。

8月6日の理事会報告

- ・ 8/28(火) 県立総合体育館 中学生バドミントン大会 協賛 50,000 円
- ・ 2012-2013 年度予算承認 1,730 万円 前年度とほぼ同額 詳細は活動計画書に掲載
- ・ 熊本県暴力追放運動 1 万円協賛 昨年と同様
- ・ 台北大同ロータリークラブヘスマイル 10 万円(慣例により出席 1 人あたり 1 万円)
- ・ 台北大同ロータリークラブが奉仕活動の一環として金門島の松柏園老人ホームにマイクロバス 1 台寄贈予定。これはロータリー財団のマッチング・グラントを通じて行う。(マッチング・グラントとは 2 ヶ国以上のロータリーや地区が関与する奉仕活動で、そうすれば寄付された金額の 50%がロータリー財団から補助金が出る仕組み)1,000 ドル以内の金額を寄付して欲しいとの依頼有り。熊本南ロータリーとしては 7 万円寄付(約 900 ドル)を決定。

台北大同ロータリークラブ訪問に関する報告(期間 8/9-14)

交換学生は、藤木もえさん、藤木さらさん、藤木せらさん、濱田有紗さん 計 4 名。随行は、前半/寿崎パストガバナ、塚本元会長、浅山、漆島幹事、古財副幹事の 5 名。後半/中川副会長、山本姉妹クラブ委員長、馬場姉妹クラブ副委員長、丸山会員、坂本

会員の 5 名 計 10 名

- ・ 8/9 台北大同ロータリークラブ クラブ協議会開催
- ・ 金門島 松柏園老人ホームへマイクロバス寄贈の件
- ・ 交換学生の年齢を大学生まで許容する。(クラブ会員の子弟の年齢が高くなった)
- ・ 台北大同ロータリークラブが来年度 30 周年を迎える。式典は再来年度に開催・・・是非出席をとの依頼有り 交換学生、随行者も全員無事に帰熊。以上、会長報告です。

幹事報告(漆島典和君)

1. NPO法人さいたまユネスコ協会より
ネパール奨学支援プロジェクト機関紙の送付、書き損じはがき回収のお願い
2. 米山記念奨学会より
ハイライトよねやまの送付
3. 熊本県暴力追放運動推進センターより
暴追速報の送付
4. 米山記念館より
館報の送付、賛助会入会のお願ひ、秋季例祭のお知らせ
5. ホテル日航くまもとより
郷ひろみディナーショーのお知らせ

例会変更のお知らせ

○水前寺公園 RC～場所変更

[日 時] 8月22日(水)18:30～

[場 所] アークホテル熊本

○'05福祉RC～運動公園清掃の為時間変更

[変更前] 9月11日(火)12:30～

[変更後] 9月11日(火)6:30～

[場 所] 総合運動公園駐車場

※台北大同扶輪社訪問のビデオ紹介

出席報告(現王園敏伸君)			
会員数	出席数	出席率	前々回(1/16) 修正出席率
60名	48名	82.76%	89.66%
出席規定適用免除者 8名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

委員会報告

●雑誌委員会(高宮 宏君)

「ロータリーの友」8月号の紹介をさせていただきます。まず横書きのページをお開き下さい。

1ページには、田中作次 RI 会長のメッセージが掲載されています。会員増強及び拡大月間にあたり、「心に残るロータリー体験」と題して、「ロータリーとは何か、なぜロータリーに入会したのか?との問いにどう答えるか。皆が統一したメッセージを発信できるように。」とのメッセージです。会員を増やす鍵は、一人ひとりのロータリアンがロータリアンになって良かったと納得し、他の人たちに情熱を伝えることだと述べています。ロータリアンなら誰しも、自分にとって特別な意味のある経験、即ち、「ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)」がある。この個人的体験を伝える1分と3分のメッセージを準備し発信しようと呼びかけられています。心に残るロータリー体験のテンプレートも RI のホームページよりダウンロード可能です。是非活用していただきたいと思います。

6ページには、「会員増強の秘訣」と題した座談会の模様が報告されています。会員増強に成功したクラブの代表者が出席し、それぞれのクラブの特徴的取り組みが紹介されています。例えば、「全員で取り組むこと、楽しい例会にすること、全員が強い意思で臨むこと、新会員の活躍の場を増やすこと。」などのノウハウが紹介されています。

さらに、11ページには、会員増強に成功した15クラブの取り組みが紹介されています。皆様一読をお願いいたします。

22ページは、東日本大震災で両親もしくは片親を亡くした遺児たちに奨学金を給付する「ロータリー希望の風奨学金プログラム」の紹介がされています。委員にパストガバナーの木下様が就任され賛同地区に2720も加入しています。

37ページから52ページにかけては、新会員のためのガイドとしてのロータリーの基本知識がシンプルに分かりやすくまとめられています。

54ページ右下の囲み記事には、冒頭の RI 会長メッセージで紹介しました、「心に残るロータリー体験」のテンプレートのダウンロードの仕方が記載されていますのでご活用ください。

次に縦書きのページです。2～6ページは、「お金の世界」から「いのちの世界」へと題して、3.11原発事故で人口6,000人が「全村非難」を強いられた、福島県飯館村(いいだてむら)の菅野典雄(かんののりお)村長の講演要旨記事です。

菅野村長の歴史観では、日本は、今第3の転換期が着いていると述べています。一つ目では「武士の時代」が終わり、二つ目では「軍人の時代」が終わり、現在の第3の転換期では、「時代の流れを読めない者が滅びていく」と感じられています。しっかりと時代を読み、日常の様々な課題に挑戦しない限り、どんなことでも滅びていくという可能性があるのが、第3の転換期だと述べられています。このような中、飯館村では、「までいライフ」(までいとは、左右そろった手、両手の意味の方言)をコンセプトに三つの取り組み、(1)自分たちの暮らし方を少し変えてみる。(2)お互いに気遣いがあり、お互い様という社会にして住み良い居場所にしていく。(3)自分たちのできることは自分たちでやる。

この「までいライフ」で小さな村が、災害から生き残ろうと頑張っている。とのメッセージです。是非、ご一読ください。

このほかにも、ご紹介したい記事がたくさんありますが、時間の関係で割愛させていただきます。

スマイルボックス(坂本研一君)

○坂本研一君

濟々鬢の健闘をたたえスマイル致します。濟々鬢らしい試合だったと思います。試合序盤の立ち上がりで、浪速のダルビッシュを引っ張り出せばもっとよかったですのと思います。今、大阪桐蔭戦をやっていますので例会終わって観戦したいです。

○田邊信一君 II

連続して例会を欠席しましたので、お詫びのスマイルです。

○古財良一君・井上雅文君・馬場大介君・坂本研一君・丸山浩之君・園田修司君

8月8日野田会員の御自宅にお招きいただき奥様の手料理をごちそうになりました。大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。ありがとうございました。料理も大変おいしかったです。

○三角雄介君

先日の暑気払い、坂本幸樹会員の歓迎会には多くの方に参加していただき、ありがとうございました。私はかなり酔っぱらってあまり記憶がございませんが、今後とも親睦活動へのご参加よろしく願います。

○吉原コウイチ君

毎年恒例の濱田先輩の卓話楽しみにしています。若者へのご教示宜しくお願いします。

○寿崎肇君

熊本南 RC の 30 年にわたる熊本市中学校バドミントン大会素晴らしい青少年奉仕活動です。日本人に感動と勇気を与える、オリンピック金メダリストを作る熊本南 RC 主催の熊本市中学生バドミントン大会でありたいと心からお願いするものであります。来年は開催から 30 年の記念の年です。30 年近く木村会員親子にお世話をかけました。熊本南 RC で実行委員会を作り金メダリストの育成のために熊本南ロータリークラブの青少年奉仕をお願い致します。ありがとうございます。

○高宮 宏君 II

本日で入会満 2 年目となります。何とか 100%出席を続けてます。一応過去のクラブの在籍と合計すると 20 年 100%だと思います。

○野口泰則君・今村浩昭君

台湾大同ロータリークラブ訪問団の無事のご帰国おめでとうございます。かなりのご盛会だったそうで浅山会長、漆島幹事はじめ山本さん、塚本さん、中川さんなどお疲れ様でした。

○藤木正幸君

短期青少年交換留学では浅山会長、山本委員長はじめ参加の皆様にお世話になりました。我が家ではあまりの喜びに台湾移住計画が進行しています。

○浅山弘康君・中川順一君・漆島典和君・古財良一君・

山本 円君

8 月 9 日より台湾姉妹クラブへの交換学生並びに台北大同扶輪社への訪問を無事に終え、関係者全員無事に帰国できました事を感謝致します。

会員卓話(濱田定勝会員)「戦後の忘れ物」



今日は 8 月 20 日、8 月 15 日はどんな日ですか、戦争が終わった日であります私にとって戦争が終わった日は 8 月 20 日、あれから 67 年、今日であります。その日に偶然にも南の例会でお話できる事を大変意義深く感じております。その訳は、城山三郎の小説「一步の距離」と云う小説に詳しく書かれております。この話は機会があれば「私の 8 月 15 日」と云うテーマでお話したいと思ひます。今日は「戦後の忘れ物」と云う事でお話し致します。最近 8 月 15 日が何の日か、日本がアメリカと戦争をしたということすら知らない日本人がいると聞きますと我が耳を疑います。

昭和 20 年(1945)8 月 15 日に、日本人はそれまでに 2 千数百年もかかって築き上げてきた大切な、大切な「心の文化」のほとんどを置き忘れてきました。否、忘れて来たというより、日本の十分の一にも満たない短い文化しか持たないアメリカによって、武器と共に強制的に捨てさせられたと云った方が良いかもしれません。それどころか、その後も数十年にわたって知識人と称する多勢に愚かな日本人自身により、「アメリカでは・・・」、「ヨーロッパでは・・・」の言葉と共に

にまだ僅かに残っていたすぐれた日本の習慣や文化までも捨てて、無分別に欧米のものを受け入れてきました。日本人のたとえ僅かでも、「忘れ物」をしてきたことを憶えている間はまだかすかな望みはありますが、その人達はもう 80 歳以上の人ばかりです。小泉純一郎ですら終戦時わずか 2 歳の幼児だったし、後継者の阿部晋三に至っては完全な戦後生まれです。これから 10 年、15 年経った時、日本人は全員、重大な忘れ物をしてきた事さえ忘れてしまった「総認知症民族」になってしまい、その時こそ日本は名実ともにわずか 100 年足らずの歴史しか持たない、完全な後進国家になってしまう。そうなつては、これから日本を支える若い人達に対して申し訳がない気持ちに駆られて話をしています 1 人でも 2 人でも解つたと信じて下されば幸いに思ひます。私は復員後、昭和 22 年(1947)、再起を図り済々黌に復学いたしました。丁度その時、学校制度が変更されて昔の中学校は新制高校へと変わり教育内容も 180 度転換する大変な混乱の時期を体験致しましたので戦前の教育と戦後の教育の基本的違いを比較出来る実体験を致しました。私は教育の専門家ではございませんが自分の体験を通して戦前と戦後の教育の大きな違いを問題点を感じたままお話をさせて頂きます。

戦後から今日迄 教育基本法 占領政策 民主主義の教育 本法(新憲法に基づき教育の基本原則を規定した法律、昭和 22

一言で表現すれば個人の尊厳、権利、自由、人権、平等これは大切な事、必要な事、立派な事ではあるが教え方を間違つと自分が一番大事、自己中心→わがまま、甘え、他人の言う事を聞かない自己中心の人間を作り出す。個性尊重を言い過ぎる、人間は決して個人としては生きられない 道徳教育が退廃すると社会人としての基礎が出来ない

宇野精一先生の言葉

「あまりにも個性尊重を謳い過ぎる、たしかに憲法にも教育基本法にも謳つてあるが私はそれが大きな問題だと申したい。人間は決して個人としては生きられない事を思つて下さい」

、個性を重視の教育を批判されております。

占領軍による日本の教育改革

実は日本人の精神的なものを弱体化して行くことがアメリカの占領政策の重点目標でありました。“国を滅ぼさんとする者は、先ずその史を断て”

日本弱体化戦略「ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム(戦争犯罪宣伝計画)」

「修身、日本の歴史及び地理の停止」が指令され修身も宗教に関する教えが天皇への忠誠心を強制し国家主義に結びついたらと断罪されたまま今日に至る。この戦略に洗脳された結果が今日の日本の姿。早く目を覚まそう。

明治から終戦まで 教育勅語(明治天皇が国民教育の基本方針を示して 1890

明治 23 年 10 月 30 日に発布された勅語 日本の伝統と歴史の上に立って道徳心、道義心を高める 12 の徳目を教えた。即ち①父母に孝に②兄弟に友に ③夫婦相和し ④朋友相信じ ⑤恭儉己を持し⑥博愛衆に及ぼし ⑦学を修め業を習い ⑧知能を啓発 ⑨徳器を成就 ⑩公益を広め、世務を開く ⑪国憲を重んじ国法に遵い ⑫義勇公に奉ず。以上は天皇陛下の押し付けでなくて、

思い、願い、希望である事を理解する事。こんな事を小学生から修身教育として教えられ精神的価値観の向上に努める教育が道徳教育であります。それを戦後、何で捨ててしまったのか悔やまれてなりません。精神的価値は100年や200年では変わらないものです。**日本弱体化戦略「ウォー・ギルト・インフォメーション・プログラム（戦争犯罪宣伝計画）」**

「修身、日本の歴史及び地理の停止」が指令され修身も宗教に関する教えが天皇への忠誠心を強制し国家主義に結びついたと断罪されたまま今日に至る。この戦略に洗脳された結果が今日の日本の姿。早く目を覚まそう。今の日本に愛国心は存在するのでしょうか。世界の中でも類を見ない皇室を中心に頂き四季に恵まれ、和の心を大切に、礼儀正しく、徳義に厚く、しかも約2000年以上の歴史と伝統を持つ、素晴らしい国に生まれた喜びと感謝そして誇りを持つてはありませんか。我が国は幕末以来東洋の君子国といはれていた。今一度、虚心坦懐、白紙の気持ちで日本の、国体、国柄、歴史を見つめ平和を愛する大和民族としての誇りを取り戻そう⇒新しい歴史教科書採用 道徳教育

今こそ子供達に徳育が必要

日本の目標、目差す所は道義国家日本

経済的豊かさと合わせて心の豊かさ

教育勅語の復活を願って止みません

教育勅語の朗読



8/9～14 台北大同扶輪社訪問
並びに交換学生の引率
大変お疲れ様でした！



訪問団(後半)／中川副会長、山本姉妹クラブ委員長、馬場姉妹クラブ副委員長、丸山会員、坂本会員



交換学生／藤木もえさん、藤木さらさん、藤木せらさん、濱田有紗さん

【例会予定】

- 9月3日(月) 新入会員卓話 塩井泰明君
- 9月10日(月) ローターアクト卓話
- 9月24日(月) 外部卓話 濱田龍郎様
(九州ラーメン党理事長)



訪問団(前半)

寿崎パストガバナー、塚本元会長、浅山会長、漆島幹事、古財副幹事。